

【樹木の部屋】

アカバメギ (メギ科メギ属 *Berberis thunbergii* 'Atropurpurea')

和名：アカバメギ (赤葉目木)

別名：

英名：

キンポウゲ目 落葉低木

原産地：日本

花言葉：

花色：黄



← 写真-1 アカバメギ

撮影日：2018年4月21日

撮影場所：カランバカ(ギリシャ)にて

撮影者：M さん



↑ 写真-2 アカバメギの花

撮影日：2018年4月21日

撮影場所：カランバカ

(ギリシャ)にて

撮影者：M さん



← 写真-3 アカバメギの葉

撮影日：2018年4月21日

撮影場所：カランバカ(ギリシャ)にて

撮影者：M さん

ギリシャ北西部・セサリア地方の奇岩群とその上に建設されたメテオラ修道院群を訪れた際、宿泊したカランバカ近郊のホテル中庭で見かけました。

アカバメギは、ヨーロッパで改良された葉が赤紫色のメギの園芸品種で、主に公園の植えつぶしやグラウンドカバーに利用されるそうです。

幹は直立して良く枝分かれし、褐色で枝には稜があります。枝の節や葉のつけ根には葉が変化した刺があり、樹高は 1～2m ほどです。葉は倒卵形または楕円形で互生または束生します。

4～5 月ごろ、新葉とともに短枝上に短い柄のある花序を出し、淡黄色の小花を数個ずつ下向きに付けます。果実は液果で 9～11 月に赤く熟します。

<ちょっと一言>

*メギ(メギ科メギ属 Berberis thunbergia)

和名：メギ(目木) **別名**：コトリトマラズ、ヨロイオドシ

メギは、山地に生える落葉低木で、和名は、枝を乾燥して煎じたものを洗眼薬としたことに由来するそうですが、健胃整腸剤にも利用されるそうです。